



【参考資料】

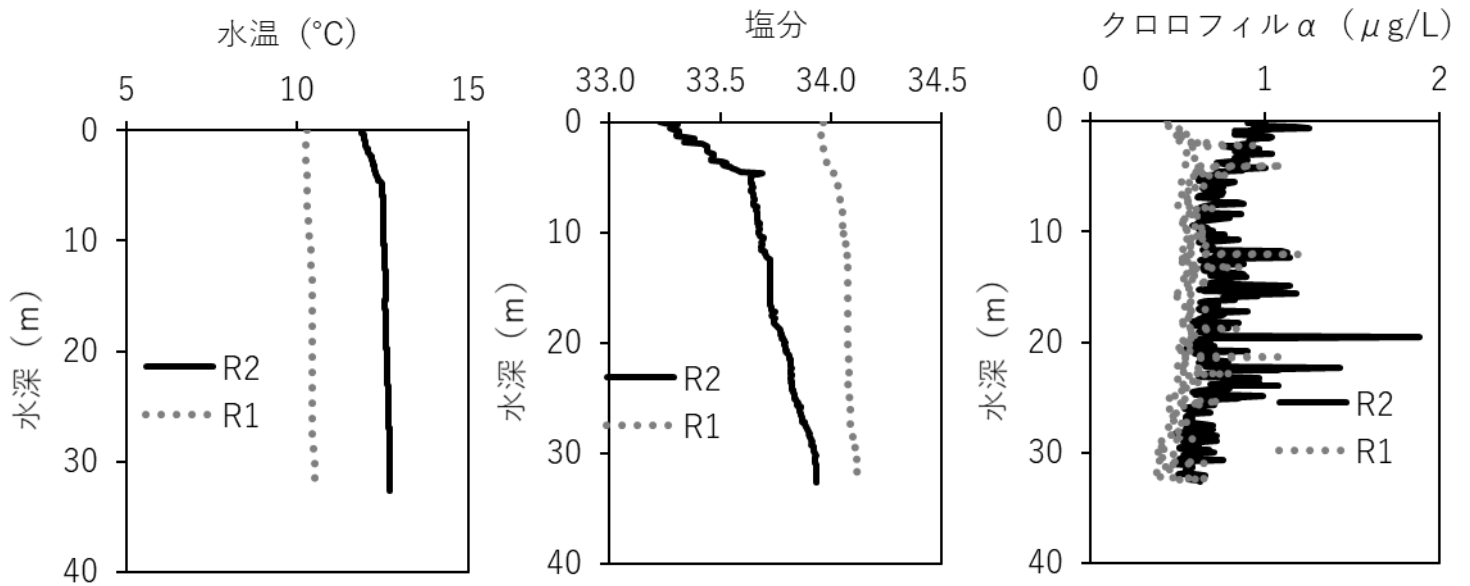


図2：「なか」の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布。破線は前年同期の値を示す。

ホタテガイ施設周辺の海洋環境を調査しました（図2）。水温は全層にわたって一様な値を示しており、前年に比べて2℃程度高い傾向にあります。一方で、塩分は前年に比べて低い値を示しており、表層では特に低い値でした。これは、降水による影響と考えられます。クロロフィルについては前年同期と同様の傾向を示していました。

©ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：12中旬に実施予定）。

※調査結果は中央水産試験場 HP から確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd000002m9a.html>